

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2013-134672  
(P2013-134672A)

(43) 公開日 平成25年7月8日(2013.7.8)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
<b>G06Q 50/08 (2012.01)</b>	G06F 17/60 104	
<b>G06Q 30/02 (2012.01)</b>	G06F 17/60 326	

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2011-285523 (P2011-285523)	(71) 出願人	512001382
(22) 出願日	平成23年12月27日 (2011.12.27)		アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社 東京都港区高輪3-23-14 シャトー高輪6F
		(74) 代理人	100123663 弁理士 広川 浩司
		(72) 発明者	高橋 恒夫 東京都港区高輪3-23-14 シャトー高輪6F アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社内
		(72) 発明者	丸山 雄平 東京都港区高輪3-23-14 シャトー高輪6F アーキテツ・スタジオ・ジャパン株式会社内

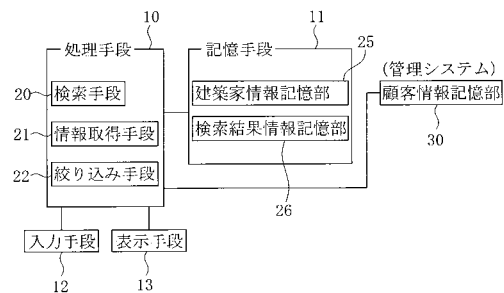
(54) 【発明の名称】 建築家検索システム

(57) 【要約】

【課題】多数の建築家の中から依頼者の希望に添う建築家を容易に選定することを可能とする建築家検索システムを提供する。

【解決手段】検索手段20と、顧客情報記憶部30から情報を取得する情報取得手段21と、情報取得手段21で取得した情報に基づき検索結果を絞り込む絞り込み手段22とを備える処理手段10と、複数の建築家について複数の項目からなる情報を関連付けて記憶する建築家情報記憶部25を有する記憶手段11とを備え、検索手段20は、建築家情報記憶部25に記憶された建築家のうち、入力された条件に適合する建築家を検索結果として出力し、絞り込み手段22は、検索手段20で検索した建築家のうち、顧客情報記憶部30に記憶された情報に適合する建築家を絞り込んだ結果として出力する。

【選択図】 図2



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

複数の建築家から入力された条件に適合する建築家を検索する検索手段と、顧客についての情報を記憶する顧客情報記憶部とを有し、前記検索手段で検索した建築家を前記顧客情報記憶部に記憶された情報に基づいて絞り込む建築家検索システムであって、

前記検索手段と、前記顧客情報記憶部から情報を取得する情報取得手段と、該情報取得手段で取得した情報に基づき検索結果を絞り込む絞り込み手段とを備える処理手段と、複数の建築家について複数の項目からなる情報を関連付けて記憶する建築家情報記憶部を有する記憶手段とを備え、前記建築家情報記憶部に記憶されている複数の項目には、前記検索手段に入力される情報の他に、前記顧客情報記憶部に記憶される情報に対応する項目も含まれ、

前記検索手段は、前記建築家情報記憶部に記憶された建築家のうち、入力された条件に適合する建築家を検索結果として出力し、

前記絞り込み手段は、前記検索手段で検索した建築家のうち、前記顧客情報記憶部に記憶された情報に適合する建築家を絞り込んだ結果として出力することを特徴とする建築家検索システム。

**【請求項 2】**

前記絞り込み手段は、前記検索手段で検索した建築家が所定数以上の場合にのみ、建築家を絞り込むことを特徴とする請求項 1 記載の建築家検索システム。

**【請求項 3】**

前記絞り込み手段は、前記検索手段で検索した建築家が所定数より少ない場合に、前記建築家情報記憶部に記憶された建築家のうち、前記顧客情報記憶部に記憶された情報に適合する建築家を検索結果として出力することを特徴とする請求項 1 記載の建築家検索システム。

**【請求項 4】**

前記顧客情報記憶部に記憶される情報には、顧客が従前に建築を依頼した際に入力された情報が含まれ、該情報に基づき前記絞り込み手段が建築家を抽出することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の建築家検索システム。

**【請求項 5】**

前記顧客情報記憶部に記憶される情報には、顧客が居住している建物の情報が含まれ、該情報に基づき前記絞り込み手段が建築家を抽出することを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の建築家検索システム。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、建築物の設計を行う建築家を選定する建築家検索システムに関し、特に依頼者のニーズに即した建築家から選定を行うことができる建築家検索システムに関する。

**【背景技術】****【0002】**

住宅などの建物を建築する際、建築家に設計を依頼することが広く行われている。建築家は、依頼者から希望される建物の広さや階数、間取りといった基本的事項と予算に基づき、建物を設計する。建物は、基本的事項が共通していても、外観や内装のデザイン、また、様々な要素の配置などにおいて、1つ1つ異なるものであり、そこには建築家の個性が大きく影響する。

**【0003】**

このため、建築の依頼者としては、誰を建築家として選定するかが重要となる。従来は、依頼者と建築家との個人的なつながりや、工務店等からの紹介によって、建築家を選定していた。しかし、従来の手法で建築家を選定した場合、建築家の選択の幅が狭いため、本当に依頼者の希望に添う建築設計を行う建築家であるかどうかは、実際に設計を行ってみるまで分からなかった。

10

20

30

40

50

## 【 0 0 0 4 】

そこで、複数の建築家に建築プランを依頼し、それらの建築プランを見てどの建築家を選定するか検討することのできるシステムが考えられている。このような建築システムとしては、例えば特許文献1に挙げるようなものがある。

## 【 先行技術文献 】

## 【 特許文献 】

## 【 0 0 0 5 】

【 特許文献1 】 特開 2 0 0 2 - 2 6 9 1 7 4 号 公 報

## 【 発明の概要 】

## 【 発明が解決しようとする課題 】

10

## 【 0 0 0 6 】

実際に建築プランを提示してもらうシステムでは、建築家の設計の傾向を掴んだ上で選定することができるという利点を有する一方、建築システムの提供者側において選択できる建築家を多数抱えていたとしても、一度に多数の建築家に建築プランを提示してもらうことは難しく、比較的少数の建築家の中から選定を行うこととなる。このため、建築家の選択の幅が必ずしも高くなかった。

## 【 0 0 0 7 】

したがって、多数の建築家の中から、ある程度依頼者の希望に添った建築家を選定した上で、その中からさらに建築プランを提示してもらうなどして、最終的に建築家を選定することが望ましいが、依頼者が建築の専門家であることはほとんどないから、依頼者にとって多数の建築家の中から希望に添う建築家を選定すること自体、困難なことであった。

20

## 【 0 0 0 8 】

本発明は前記課題を鑑みてなされたものであり、多数の建築家の中から依頼者の希望に添う建築家を容易に選定することを可能とする建築家検索システムを提供することを目的とする。

## 【 課題を解決するための手段 】

## 【 0 0 0 9 】

前記課題を解決するため、本発明に係る建築家検索システムは、複数の建築家から入力された条件に適合する建築家を検索する検索手段と、顧客についての情報を記憶する顧客情報記憶部とを有し、前記検索手段で検索した建築家を前記顧客情報記憶部に記憶された情報に基づいて絞り込む建築家検索システムであって、

30

前記検索手段と、前記顧客情報記憶部から情報を取得する情報取得手段と、該情報取得手段で取得した情報に基づき検索結果を絞り込む絞り込み手段とを備える処理手段と、複数の建築家について複数の項目からなる情報を関連付けて記憶する建築家情報記憶部を有する記憶手段とを備え、前記建築家情報記憶部に記憶されている複数の項目には、前記検索手段に入力される情報の他に、前記顧客情報記憶部に記憶される情報に対応する項目も含まれ、

前記検索手段は、前記建築家情報記憶部に記憶された建築家のうち、入力された条件に適合する建築家を検索結果として出力し、

前記絞り込み手段は、前記検索手段で検索した建築家のうち、前記顧客情報記憶部に記憶された情報に適合する建築家を絞り込んだ結果として出力することを特徴として構成されている。

40

## 【 0 0 1 0 】

また、本発明に係る建築家検索システムは、前記絞り込み手段は、前記検索手段で検索した建築家が所定数以上の場合にのみ、建築家を絞り込むことを特徴として構成されている。

## 【 0 0 1 1 】

さらに、本発明に係る建築家検索システムは、前記絞り込み手段は、前記検索手段で検索した建築家が所定数より少ない場合に、前記建築家情報記憶部に記憶された建築家のうち、前記顧客情報記憶部に記憶された情報に適合する建築家を検索結果として出力するこ

50

とを特徴として構成されている。

【0012】

さらにまた、本発明に係る建築家検索システムは、前記顧客情報記憶部に記憶される情報には、顧客が従前に建築を依頼した際に入力された情報が含まれ、該情報に基づき前記絞り込み手段が建築家を抽出することを特徴として構成されている。

【0013】

そして、本発明に係る建築家検索システムは、前記顧客情報記憶部に記憶される情報には、顧客が居住している建物の情報が含まれ、該情報に基づき前記絞り込み手段が建築家を抽出することを特徴として構成されている。

【発明の効果】

【0014】

本発明に係る建築家検索システムによれば、検索手段は、建築家情報記憶部に記憶された建築家のうち、入力された条件に適合する建築家を検索結果として出力し、絞り込み手段は、検索手段で検索した建築家のうち、顧客情報記憶部に記憶された情報に適合する建築家を絞り込んだ結果として出力することにより、入力された検索条件だけでなく、顧客に応じた情報によってより適切な建築家を検索結果として提示することができる。

【0015】

また、本発明に係る建築家検索システムによれば、絞り込み手段は、検索手段で検索した建築家が所定数以上の場合にのみ、建築家を絞り込むことにより、適正な数の建築家を検索結果として提示することができ、利用者も容易かつ的確に建築家を選択することが可能となる。

【0016】

さらに、本発明に係る建築家検索システムによれば、絞り込み手段は、検索手段で検索した建築家が所定数より少ない場合に、建築家情報記憶部に記憶された建築家のうち、顧客情報記憶部に記憶された情報に適合する建築家を検索結果として出力することにより、入力された検索条件に基づいた検索結果が少なくても、適正な数の建築家を検索結果として提示することができ、利用者も容易かつ的確に建築家を選択することが可能となる。

【0017】

さらにまた、本発明に係る建築家検索システムによれば、顧客情報記憶部に記憶される情報には、顧客が従前に建築を依頼した際に入力された情報が含まれ、この情報に基づき絞り込み手段が建築家を抽出することにより、従前の情報を用いて検索することができるので、入力する検索条件を減らしたり、あるいはより適切な建築家の絞り込みをなしたりすることができる。

【0018】

そして、本発明に係る建築家検索システムによれば、顧客情報記憶部に記憶される情報には、顧客が居住している建物の情報が含まれ、この情報に基づき絞り込み手段が建築家を抽出することにより、顧客の指向に応じた建築家を適切に検索することができる。

【図面の簡単な説明】

【0019】

【図1】本実施形態における建築家検索システムの概要図である。

【図2】検索システムのブロック図である。

【図3】建築家情報記憶部に記憶される事項を表にしたものである。

【図4】検索条件の入力時における画面例である。

【図5】検索条件の入力時における画面例である。

【図6】検索条件の入力時における画面例である。

【図7】検索条件の入力時における画面例である。

【図8】建築家検索システムでの検索のフローチャートである。

【発明を実施するための形態】

【0020】

本発明の実施形態について図面に沿って詳細に説明する。図1には、本実施形態におけ

10

20

30

40

50

る建築家検索システムの概要図を示している。この図に示すように、本実施形態の建築家検索システムは、建築家の検索を行う検索システム1と、顧客についての情報を管理する管理システム2及び認証サーバー3を有しており、インターネット8を介して顧客端末4や建築家端末5、管理者端末6及び工務店端末7と接続されている。利用者は、各端末から検索システム1に接続し、建築家の検索結果を得ることができる。

#### 【0021】

建築家検索システムには、システムを運営する管理者の他、建物の建築主である顧客、建物を設計する建築家、及び建築の施工を行う工務店から、それぞれアクセスすることができる。本実施形態では、特に、顧客によって建築家を検索することを想定しているが、顧客端末4以外からでも同様の動作をなすことは可能である。

10

#### 【0022】

図1に示す認証サーバー3は、端末からのアクセスに対する認証を行うものである。また、管理システム2は、顧客や建築家、工務店などについての情報を一括して管理することができる。検索システム1は、一部の情報を管理システム2から得て、検索結果を出力するため、検索システム1と管理システム2も互いに接続されている。

#### 【0023】

図2には、検索システム1のブロック図を示している。検索システム1は、各種処理を行う処理手段10と、情報を記憶する記憶手段11とを備えている。処理手段10は、利用者が入力した情報に基づいて建築家を検索する検索手段20と、検索結果の絞り込みに使用する情報を管理システム2から取得する情報取得手段21と、情報取得手段21で取得した情報に基づき検索手段20での検索結果をさらに絞り込む絞り込み手段22とを有している。

20

#### 【0024】

記憶手段11は、複数の建築家について、複数の項目からなる情報を関連付けて記憶する建築家情報記憶部25と、検索手段20及び絞り込み手段22で検索した情報を顧客毎に記憶する検索結果情報記憶部26とを有している。また、管理システム2は、顧客毎に複数の情報を関連付けて記憶する顧客情報記憶部30を有しており、この顧客情報記憶部30の情報を利用して絞り込み検索が行われる。管理システム2は、顧客や建築家、工務店についての情報を管理するためのシステムとして構成されているが、建築家検索システムにおいては顧客情報記憶部30のみが関係するから、それ以外の構成については説明を省略する。

30

#### 【0025】

処理手段10には、入力手段12と表示手段13が接続されており、入力手段12から検索条件などが入力され、表示手段13に検索結果等が表示される。これらは、図2では建築家検索システムに含まれるように図示されているが、実際には顧客端末4などが備えるものであって、インターネット8を介してシステムに対する入出力がなされる。

#### 【0026】

図3には、建築家情報記憶部25に記憶される事項を表にしたものを示している。建築家情報記憶部25には、各建築家に付されたID毎に複数の情報が記憶されている。図3に示す事項のうち、(1)と(2)は建築家を特定するための情報である。(3)～(19)までは、利用者によって入力される情報に対応する情報であり、検索手段20によって用いられる情報である。(20)～(23)までは、顧客情報記憶部30に記憶されている情報に対応する情報であり、絞り込み手段22によって用いられる情報である。

40

#### 【0027】

建築家情報記憶部25の項目には、(1)～(14)のように、各項目に対して1つの情報が記憶されているものと、(15)以降のように、各項目に対して1つまたは複数の情報が記憶されているものがある。検索手段20または絞り込み手段22では、1つの項目に複数の情報が記憶されている場合には、入力された情報または顧客情報記憶部30に記憶されている情報のいずれかが該当すれば、検索条件に該当したものとして取り扱う。

50

## 【0028】

図3には、IDが0001～0005までの建築家のみを示しているが、実際には多くの建築家についての情報を建築家情報記憶部25に記憶させておき、その中から入力された検索条件及び顧客情報記憶部30に記憶された情報に適合する建築家を抽出して、顧客等に提示する。

## 【0029】

図4～7には、検索条件の入力時における画面例を示している。図4～7は、画面上では一連に表示される。図4の検索条件は「年齢」、「活動拠点」、「出身地」、「住所」、「実績」、「受賞歴」があり、それぞれについて選択肢が提示される。利用者は、これら各項目につき選択することで、検索条件の入力がなされる。また、例えば年齢や活動拠点などの項目については、複数の選択肢を選択することができ、実績や受賞歴のような項目については、1つだけを選択することができる。

10

## 【0030】

図5の検索条件は「トーク」、「表現」、「行動」、「思考」、「打ち合わせ回数」、「趣味」があり、これらは全ていずれか1つだけを選択することができる。図6の検索条件は「得意とする構造」、「得意とする外部のデザインスタイル」、「多用する屋根の形状」、「多用する外壁の材料」があり、これらは全て複数を選択することができる。図7の選択条件は「得意とする内部のデザインジャンル」、「多用する内部の仕上げ材料」があり、これらは全て複数を選択することができる。

20

## 【0031】

顧客情報記憶部30には、顧客毎に複数の項目からなる情報が関連付けて記憶されている。複数の項目の中には、顧客の属性を示す情報と、顧客が従前に建築を依頼した際に入力された情報とが含まれている。顧客の属性を示す情報としては、例えば年齢や居住地、顧客が居住している建物の情報などがあり、これらは建築家検索システムを使用する前に、予め顧客あるいは管理者によって入力されているものである。顧客が従前に建築を依頼した際に入力された情報は、顧客が従前にも建物の建築を検討していた場合にのみ存在するものであるが、図4～7で示された検索条件が、そのまま該当する。

## 【0032】

かかる構成を有する建築家検索システムにおける検索のフローについて説明する。図8には、建築家検索システムでの検索のフローチャートを示している。まず、図4～7で示した検索条件につき、入力がなされる(S1)。検索条件が入力されたら、検索手段20は、建築家情報記憶部25から検索条件に該当する建築家を抽出する(S2)。

30

## 【0033】

検索条件は複数あるから、検索条件毎に該当する建築家を絞り込み、最終的に全ての検索条件に該当する建築家を、検索結果として出力する。このとき、検索条件の入力時に、「問わない」の項目を選択、または項目をいずれも選択していない条件に対しては、絞り込みを行わずに他の条件につき絞り込みを行う。

## 【0034】

検索手段20で検索を行ったら、抽出した建築家が所定数以上、例えば4人以上であるか否かを判別する(S3)。該当する建築家が多い場合には、検索結果として全ての建築家を提示しても、顧客はその中から適切な建築家を選択するには手間がかかる。よって、検索条件の入力で得た情報以外の顧客についての情報、すなわち顧客情報記憶部30に記憶されている情報に基づき、検索結果をさらに絞り込む。

40

## 【0035】

S3で抽出した建築家が所定数以上であった場合、処理手段10の情報取得手段21は、管理システム2の顧客情報記憶部30から顧客情報を取得する(S4)。ここで取得する顧客情報は、図3に示した建築家情報記憶部25に記憶されている項目に対応する情報であり、図3に即すると、顧客年代と顧客指向、及び顧客居住建物についての情報が取得される。また、顧客が過去に建物の建築を依頼していた場合には、図3の(2)～(20)に相当する情報が顧客情報記憶部30に記憶されているから、その情報も取得する。

50

## 【0036】

顧客情報記憶部30から顧客情報を取得したら、処理手段10の絞り込み手段22は、顧客情報に基づき絞り込み検索を行う(S5)。絞り込み検索は、S2で抽出した建築家のうち、S4で取得した情報に対応する条件毎に該当する建築家を絞り込み、全ての条件に該当する建築家を検索結果として出力する。

## 【0037】

顧客が過去に建物の建築を依頼していて、その時の情報を顧客情報記憶部30から取得できた場合には、S2と同じ条件につき絞り込み検索を行う。また、図3の(21)~(23)に対応する情報を顧客情報記憶部30から取得したら、これらの各条件について該当する建築家を抽出する。

10

## 【0038】

絞り込み検索により建築家を絞り込んだら、その結果を表示手段13に表示させる(S5)。ここで表示される検索結果は、S2での検索結果をA、S5での検索結果をBとすると、AかつBに合致する建築家となる。

## 【0039】

このように、入力した検索条件によって抽出された建築家が多い場合には、顧客情報記憶部30に記憶された情報によって絞り込み検索を行うことにより、適正な数の建築家を提示することができ、利用者が容易かつ的確に建築家を選択することが可能となる。また、入力された検索条件だけでなく、顧客毎の情報に基づいて適切な建築家を提示することができる。さらには、検索条件が少なくても顧客の情報に基づき建築家を適正に検索することができるので、検索条件の入力の手間を少なくすることもできる。

20

## 【0040】

なお、S5の絞り込み検索を行っても、抽出される建築家の数が多い場合には、検索結果のうち上位の建築家のみを提示するようにしてもよい。検索結果の順位は、様々な方法でつけることが可能である。例えばランダムに並べてもよいし、ID順に並べるなどしてもよい。

## 【0041】

S3において検索された建築家が所定数未満であった場合、さらにその数がS3とは別の所定数未満、例えば2人未満であるか否かが判別される(S7)。ここで検索された建築家の数が所定数未満でなければ、S2での検索により適正な数の建築家が抽出されたことになるから、S2の検索結果をそのまま表示手段13に表示させる(S11)。

30

## 【0042】

一方、S7において検索された建築家が所定数未満であった場合は、選択できる建築家の数が少ない、あるいは0であるため、この場合にも利用者は建築家を適切に選択することができない。したがって、この場合には、顧客情報記憶部30に記憶された情報から建築家を追加するように検索を行う。そのために、まず処理手段10の情報取得手段21は、管理システム2の顧客情報記憶部30から顧客情報を取得する(S8)。

## 【0043】

顧客情報を取得したら、その情報に基づき建築家情報記憶部25から建築家を検索する(S9)。ここで抽出された建築家をS2で抽出された建築家と合わせて表示手段13に表示させる(S10)。ここで表示される検索結果は、S2での検索結果をA、S8での検索結果をBとすると、AまたはBに合致する建築家となる。この場合にも、抽出される建築家の数が多い場合には、検索結果のうち上位の建築家のみを提示するようにしてもよい。

40

## 【0044】

このように、入力した情報によって抽出された建築家が少ない場合には、顧客情報記憶部30に記憶された情報によってさらに検索を行うことにより、適正な数の建築家を提示することができ、利用者が容易かつ的確に建築家を選択することが可能となる。

## 【0045】

以上、本発明の実施形態について説明したが、本発明の適用は本実施形態には限られず

50

、その技術的思想の範囲内において様々に適用されうるものである。

【符号の説明】

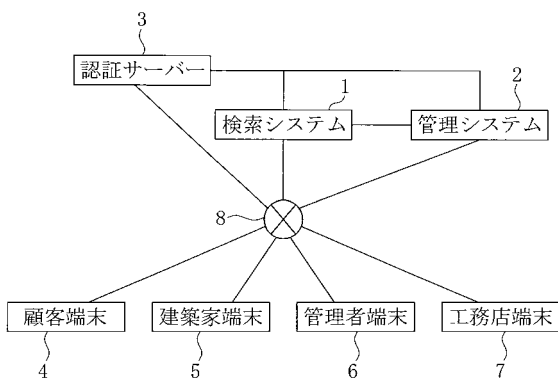
【0046】

- 1 検索システム
- 2 管理システム
- 3 認証サーバー
- 4 顧客端末
- 5 建築家端末
- 6 管理者端末
- 7 工務店端末
- 8 インターネット
- 10 処理手段
- 11 記憶手段
- 12 入力手段
- 13 表示手段
- 20 検索手段
- 21 情報取得手段
- 22 絞り込み手段
- 25 建築家情報記憶部
- 26 検索結果情報記憶部
- 30 顧客情報記憶部

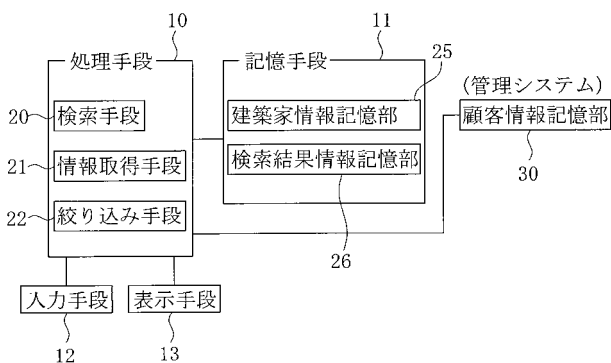
10

20

【図1】



【図2】



【図3】

(1) ID	0001	0002	0003	0004	0005	...
(2) 氏名	○××	△△□□	○△×□	×○△□	□×○△	...
(3) 年齢	51	40	28	45	39	...
(4) 活動拠点	関東	関東	東北	東海	関西	...
(5) 出身地	関東	北陸	東北	九州	関西	...
(6) 住所	関東	関東	東北	東海	関西	...
(7) 実績	30~	26~30	11~20	26~30	21~25	...
(8) トーク	多い	普通	普通	少ない	普通	...
(9) 思考性	ホドックス	ホドックス	アドベンチャー	アドベンチャー	ホドックス	...
(10) 受賞歴	あり	なし	なし	あり	あり	...
(11) 表現	チャーム	ラジカル	ソフト	ソフト	チャーム	...
(12) 打合回数	多い	普通	多い	少ない	少ない	...
(13) 行動	行動派	じっくり派	行動派	じっくり派	行動派	...
(14) 趣味	アウトドア派	アウトドア派	アウトドア派	インドア派	アウトドア派	...
(15) 構造	木造在来 木造2×4	鉄筋コンクリート	木造2×4 その他	重量鉄骨 鉄筋コンクリート	木造在来	...
(16) デザイン スタイル	伝統 和風 和洋折衷	現代 洋風	伝統的斬新 和風 その他	現代 和洋折衷	伝統 和風	...
(17) 屋根 デザイン	片流れ 陸屋根	切妻 片流れ	寄棟 ボールド	陸屋根	切妻 その他	...
(18) 外壁材料	湿式	湿式	乾式 その他	乾式	乾式 その他	...
(19) 内部 デザイン	ジャパニーズ アジア	イタリアン	アジア	アメリカ 北欧	ジャパニーズ 北欧	...
(20) 内部仕上	たたみ フローリング	タイル カーペット	たたみ フローリング	ビニル系シート フローリング	カーペット 石	...
(21) 顧客年代	30代 40代	20代 30代	20代 40代	50代 60代	40代 50代	...
(22) 顧客指向	保守的	デザイン重視	機能性重視	保守的	斬新	...
(23) 顧客居住 建物	一戸建	マンション	マンション	一戸建	一戸建	...

## 【 図 4 】

## 検索条件

- 年齢  20代  
 30代  
 40代  
 50代  
 問わない
- 活動拠点    北海道  
 出身地    東北  
 住所    関東  
   甲信越  
   北陸  
   東海  
   近畿  
   中国  
   四国  
   九州  
   沖縄  
   問わない
- 実績  10棟未満  
 11～20棟  
 21～30棟  
 30棟以上
- 受賞歴  ある  
 ない  
 問わない

## 【 図 5 】

- トーク  多い  
 普通  
 少ない  
 問わない
- 表現  ソフト  
 ナチュラル  
 ラジカル  
 問わない
- 行動  行動派  
 じっくり派  
 問わない
- 思考  アドベンチャー  
 オーソドックス  
 問わない
- 打ち合わせ回数  多い  
 普通  
 少ない  
 問わない
- 趣味  インドア派  
 アウトドア派  
 問わない

## 【 図 6 】

- 得意とする構造は  木造在来工法  
 木造ツーバイフォー工法  
 重量鉄骨造  
 鉄筋コンクリート造  
 その他
- 得意とする外部の  
 デザインスタイルは  伝統  
 伝統的斬新  
 現代  
 その他
- 和風  
 洋風  
 和洋折衷  
 その他
- 多用する  
 屋根の形状は  切妻  
 寄棟  
 片流れ  
 陸屋根  
 ボールト  
 その他
- 多用する  
 外壁の材料は  湿式  
 乾式  
 その他

## 【 図 7 】

- 得意とする内部の  
 デザインジャンルは  ジャパンテイスト  
 アメリカンテイスト  
 イタリアンテイスト  
 アジアンテイスト  
 北欧テイスト  
 その他
- 多用する内部の仕上げ材料は
- 床  フローリング  
 ビニル系シート  
 タイル  
 石  
 カーペット  
 たたみ  
 その他
- 壁  塗装  
 ビニールクロス  
 化粧合板  
 珪藻土塗  
 タイル  
 石  
 その他
- 天井  塗装  
 ビニールクロス  
 化粧合板  
 その他

【 図 8 】

